

イースターのお知らせ イースター礼拝



4/12 (日) 10:30~

復活されたイエス・キリストを記念して礼拝をささげます。どなたでもお越しください。聖歌隊の賛美があります。



はっぴいイースター in 宝塚は中止になりました。

このたびの新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止することに決定しました。ご了解ください。

教会からのオススメの一冊

「レンブラントのイースター」

イエルク・ツィンク 著／伊藤公子 訳
(一麦出版社)

レンブラントの描いた作品をご覧になったことがあるでしょうか。光と闇のコントラストを使いこなし、引き込まれるような独特の魅力を見る者に感じさせます。

レンブラント・ファン・レインは、17世紀のネーデルラント（現在のオランダ）を生き、バロック期を代表する画家の一人です。幼い頃に聖書の教育を受けた彼は、聖書に関する作品を数多く残しています。本書は、その中からイースターを中心に題材を絞り、詳しい解説とともに紹介します。解説は少々難解なところもありますが、彼がどんなメッセージを作品に込めたのかをじっくり学ぶことができます。そして、紹介されている作品数は6点と多くはないものの、各ページで彼の美しい作品を身近に堪能することができることも本書の魅力です。

レンブラント・ファン・レインは、17世紀のネーデルラント（現在のオランダ）を生き、バロック期を代表する画家の一人です。幼い頃に聖書の教育を受けた彼は、聖書に関する作品を数多く残しています。本書は、その中からイースターを中心に題材を絞り、詳しい解説とともに紹介します。解説は少々難解なところもありますが、彼がどんなメッセージを作品に込めたのかをじっくり学ぶことができます。そして、紹介されている作品数は6点と多くはないものの、各ページで彼の美しい作品を身近に堪能することができることも本書の魅力です。

本当のイースターの意味を芸術の視点から見つめてみると、新しい発見があるかもしれません。



イースターってなに？

イースターとは、イエス・キリストが復活されたことを記念する日です。

キリストは、今からおよそ2000年前にこの世に生まれ、33年半の生涯の後、十字架にかけられて死なれました。それは、私たち人間を罪から救うための身代わりの死でした。

キリストの体は墓に葬られましたが、三日目の朝に、墓の中から復活されました。普通は死人の復活などありえないことだと思われませんが、キリストは、私たちに永遠のいのちを与え、天国の希望に生きる者とするために、全能の神の力をもって復活されたのです。

このキリストの復活を信じるとき、私たちのうちに、生きる力、喜び、希望が与えられます。

教会のひとこま 幼子祝福式

今年になって、二人の幼子が牧師先生に抱かれて、神様の祝福を祈っていただきました。

大変な時代ではありますが、神様の豊かな愛と守りの中を健やかに育てほしいと心から願います。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail : info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャスト

でも配信！

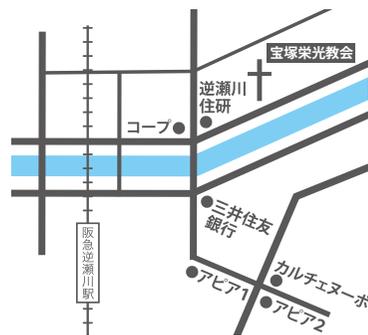
ホームページから利用できます。

礼拝 毎週日曜日

10:30~11:40



わたしたちは統一教会、ものみの塔（エホバの証人）、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



復活の希望に生きる

イースター、おめでとうございます。イエス様が墓の中からよみがえられたことを、心からお祝いしましょう。

なぜイースターをお祝いするのでしょうか。それは、イエス様が復活されたことによって、私たちに大きな希望が与えられたからです。

イエス様は十字架に付けられて死なれ、墓に葬られましたが、神の子イエス様は、死んでそのまま終わってしまうようなお方ではありませんでした。三日目に墓の中からよみがえられたのです。イエス様は死の暗闇を打ち破って、復活されたのです。

人はだれでもいつかは死にます。そして死は、多くの場合、何の予告もなしにやってくるものです。私たちは絶えず死の危機に面していると言っても、過言ではないでしょう。

死んだらどうなるかは、誰にも分かりません。死んで帰ってきた人は、まだ誰もいないからです。死の向こうに何があるか、それは、厚いベールに被われています。ですから、死ぬのはこわいのです。

しかし、イエス様はこの死の問題に解決を与えてくださいました。イエス様は言われました、「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者はみな、永遠に決して死ぬことはありません。あなたは、このことを信じますか。」(ヨハネの福音書11章25,26節)

私たちの罪のために十字架にかかって死なれ、よみがえられたイエス様を信じるなら、いつまでも死なない永遠のいのちが与えられるという約束です。この肉体は朽ち果てますが、魂は新しいいのちによって永遠に生かされ、天国に行けるのです。

死人の復活なんてバカバカしくて信じられないと思われるでしょうか。しかし、死に対する勝利は、イエス様の復活を信じるころにこそあるのです。そして、死の問題が解決したところに、本当の、人間らしい、生き生きした生き方が開かれてくるのです。あなたも、よみがえりのイエス様を信じて、勝利ある人生を送られませんか。



「ミツマタ ーやさしい春の木ー」

時に厳しい日々の中 聞える便りに 心が和らぐことがある
手で触れ 目に入るもので 気持ちが和むことがある
ミツマタが 待ちかねていたように 花をつけているのに気がついた日
少しうつむきかげんにしながら 告げている気配に 目が留まった時
つき動かされたように 目を上にあげた

このミツマタは 去年の秋 葉を落として
木は枯木のようにになっていた 背丈が低く 目立たない木だ
春になって 枝には新芽も芽吹いていないのに
なんと 枝の先に 小さな淡い黄色の花を咲かせていたのだ

顔を近づけると ほのかに甘い香りがする
また ミツマタの樹皮は 繊維が強く 柔軟で光沢があるので
良質な和紙の原料であった

優しさの中に 力強さを秘めているのか
ミツマタの花に励まされた日であった

主よ あなたの御言葉のとおり
あなたの僕に 恵み深くお計らいください
確かな判断力と 知識をもつように
わたしを教えてください

詩編119編 (聖書)